

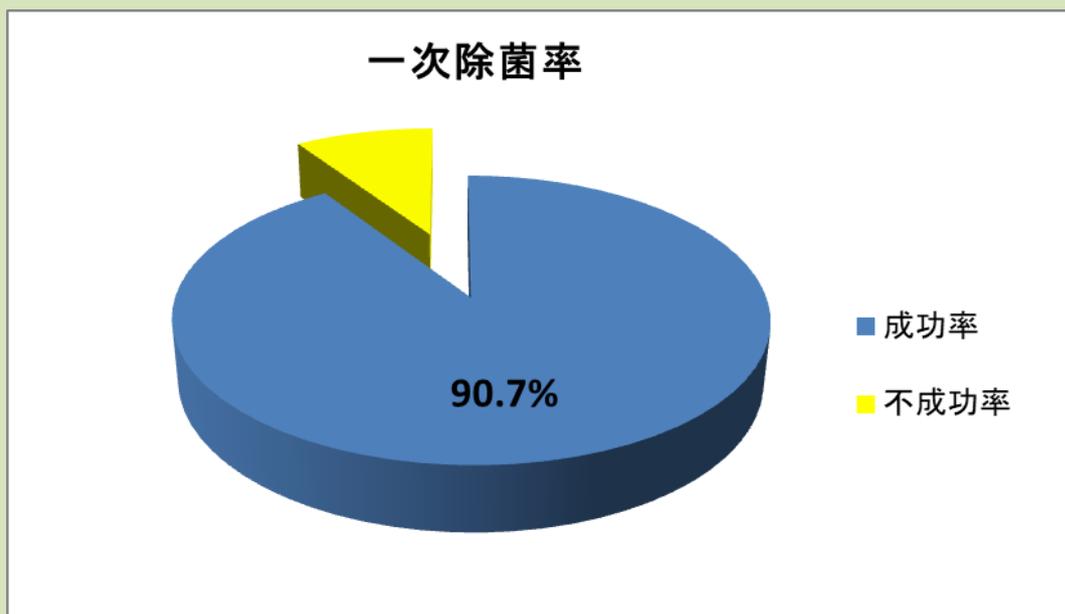
当院におけるピロリ菌の受診者

(2018年3月～2019年2月)

はじめに

酸関連疾患治療剤であるボノプラザンは、酸分泌抑制の作用発現が速く、ピロリ菌の除菌率が高いとされている。当院では、2015年7月よりボノプラザンによる除菌療法を開始し、昨年の一次除菌率は95%と高かった。2018年3月から2019年2月までの受診者の集計と一次除菌率を求め、その推移をおた。

一次除菌者数 : 227名 (男性106名、女性121名、年齢19～87歳)
一次除菌成功者数 : 206名
一次除菌不成功者数 : 21名



まとめ

96%の患者さんにボノプラザンが使用されていた。一次除菌率は昨年よりやや低下したが、90.7%と高い除菌率であった。年齢は19歳から87歳と幅広く、性別に大きな差はなかった。下痢や蕁麻疹などの副作用の頻度は低く安全に行われていた。今後も高い除菌率の維持が期待される

日本ヘリコバクター学会認定医 桂田純二郎